

江別市子どもの読書活動推進計画（第3期）推進状況報告書（点検・評価結果）

※ 評価欄について 5:達成 4:ある程度達成(上昇傾向) 3:未達成だが上昇傾向
2:未達成 1:未達成(下降傾向)

計画期間 令和元年度～令和5年度

基本目標1：家庭、地域、学校を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

【基本目標1で目指すこと】

子どもの読書習慣を定着させ、自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校等社会全体で読書活動を推進する取組を進めていく必要があります。

そのため家庭、地域、学校等が推進に向けたそれぞれの役割を明確にすることとともに、関係機関や団体等と連携し、相互に協力しつつ、子どもの発達の段階に応じて多様な取組を進めていきます。

◆成果指標1 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり10分以上読書する子どもの割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
小学校6年生 62.7%	63.6%	未実施	64.0%			↗
中学校3年生 55.2%	54.9%	未実施	49.9%			↗

達成状況	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い施設などの利用の制限がある中で学校司書(巡回)と支援司書による新書と古い本との入れ替えや見出しをカラーにし、本の場所等をわかりやすくするなど蔵書整備を行い、子どもが本に親しむ機会を提供し読書活動を推進する取組を実施しました。成果指標は、現状値を小学校6年生は上回り60%台で推移し、中学校3年生は下回り50%前後で推移しています。	評価	小学校6年生 5 中学校3年生 1
------	---	----	----------------------------

◆成果指標2 学校図書館における児童生徒一人当たりの年間図書貸出冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
25.9冊	22.8冊	20.4冊	23.1冊			↗

達成状況	学校司書(巡回)と支援司書による学校図書館の蔵書整備を実施しました。成果指標は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校図書館の利用制限などの影響で令和元・2年度は現状値を下回ったが3年度は上昇しています。	評価	3
------	---	----	---

◆成果指標3 情報図書館における18歳以下の利用者一人当たりの年間図書貸出冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
5.4冊	4.5冊	3.9冊	3.7冊			↗

達成状況	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用の制限がある中で読み聞かせや朝読書の支援などを行い、読書への興味を高める取組を実施しました。成果指標は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館などの影響で現状値を下回っています。	評価	2
------	--	----	---

◆成果指標4 情報図書館・保健センター・子育て支援センターが行う読み聞かせの回数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
521回	512回	316回	245回			→

達成状況	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用の制限がある中で読み聞かせを引き続き実施しました。成果指標は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用の臨時休館などの影響で現状値を下回っています。	評価	2
------	--	----	---

◆成果指標5 満1歳未満の乳児とその保護者を対象とした「親と子の絵本事業」における、対象家庭への訪問割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
97.3%	96.2%	95.9%	96.6%			→

達成状況	親子で本に触れる機会を提供するため、新型コロナウイルス感染症拡大時期を避けて訪問する等、配付方法に工夫をしながら、引き続き、乳児がいる家庭に絵本の配付を行いました。成果指標は、現状値をわずかに下回っていますが、令和元年度以降、概ね横ばいの状況で推移しています。	評価	4
------	--	----	---

基本目標2：子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

【基本目標2で目指すこと】

子どもの読書習慣を形成するためには、子どもの発達の各段階を踏まえた読書活動に取り組むことができるよう、読書環境の整備を進める必要があります。

そのため、子どもが読書の楽しさを知るきっかけをつくとともに、読書活動の推進に向けた場所や機会の提供などを通じて、望ましい読書環境づくりに努めます。

◆成果指標1 情報図書館における児童書の冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
107,505冊	106,381冊	105,737冊	106,457冊			→

達成状況	情報図書館においては、情報図書館資料収集方針に基づき年代に応じた児童書を継続して購入しています。 成果指標は、現状値を下回る状態で推移していますが、目標に近づいています。	評価	3
------	--	----	---

◆成果指標2 学校図書館図書標準を達成している学校の割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
23.1%	52.0%	48.0%	60.0%			→

達成状況	学校図書館図書標準とは、公立の義務教育諸学校において、学級数に応じて設定される標準冊数のことであり、学校図書館の蔵書率の低い学校に対して重点的に図書整備を行いました。 成果指標は、現状値を上回り、各学校の蔵書率は図書標準を達成していない学校でも概ね90%台を推移しています。	評価	5
------	--	----	---

◆成果指標3 学校司書（巡回）、支援司書による学校への対応回数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
778回	729回	876回	814回			→

達成状況	学校司書（巡回）と支援司書が、情報図書館と学校が連携して、学校図書館の環境整備や児童生徒の調べ学習など教育活動を支援する取組を継続的に行いました。 成果指標は、現状値を上回り、概ね800回台で推移しています。	評価	4
------	---	----	---

■取組内容、成果指標の動向・次期に向けての課題

「第3期江別市子どもの読書活動推進計画」は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができる環境整備の推進に向けて、国や北海道の推進計画を基本に、子どもの読書活動の推進状況等を踏まえ、平成31年3月に計画を策定し、令和元年度から推進に向けた取組を行ってきました。

国においては、子どもの読書活動の現状と課題等を踏まえ、次期推進計画を策定中であり、国の有識者会議では、多様な子供たちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備及び子供の視点に立った読書活動の推進が基本的な方針であり、北海道においてはこのような方向性を踏まえつつ、家庭、地域、学校等を通じた社会全体で取り組まれるよう推進計画等の見直しや推進体制の整備など取組の方向性について議論が進められております。

このことから、次期計画においては、国や北海道の議論を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等の影響で一部目標値の未達成があることから、今後も感染対策を講じたうえで、家庭、地域、学校等を通じた効果的な取組の推進に向けて検討を進める必要があります。